

被災後、復旧のカギは人 ～住民・ボランティア・企業・行政～

レポーター ひろ記者 津森正裕、坪島 遊

広島港沖に浮かぶ「安芸小富士」
が美しい南区似島。豪雨災害後10
か月の島を歩いた。

昨年7月の豪雨災害では瀬戸内の
島々も被災を受けた。似島では、島
内5ヶ所で土砂災害が発生し、人的
被害はなかったものの、多くの住宅、
生活道路が土砂で埋まった。

似島地区災害対策本部の活動を支えた、似島地区地域おこし協力
隊の船谷季弘さん、似島公民館の湯出原宏館長にお話を聞いた。

島民と多くのボランティアが協力して土砂撤去作業

島は山がちで、狭い平地に約800人、約500世帯が暮らしている。
栈橋近くの「家下地区」には商店、住宅が密集し、鍵型で入り組んだ
狭い道路、路地が多い。

豪雨災害時には、山からの土砂が栈橋近くまで届き、途中の道路は
土砂に埋まった。ここも高齢者が多く、道路が使えないと直ちに生活に
支障が出る。2日後の7月8日には、自主的に、東町、中町、西町の似
島連合町内会が似島地区災害対策本部を立ち上げた。

島民だけの土砂撤去には限界があると、早い時期からボランティア
受け入れの体制を作り、南区、社会福祉協議会などに働きかけを行なっ
た。地域おこし協力隊の船谷さんは、ボランティアの活動コース設定（A
～Jコース）、1チーム体制（6名）、熱中症対策からタイムキーパーを1
名選定などの仕組みを構築。南区社会福祉協議会と連携しながら、現



▲（左から）湯出原館長と船谷隊員

地ボランティア活動の運営を陣頭指
揮。似島公民館は場所の提供等で
活動を全面的にサポートした。

似島汽船も乗船料金（宇品港⇄
似島港大人880円）を無料で協力。
参加したボランティアがSNSで情報
を配信するなど、多い日には約
400人が参加し8月31日までボラン
ティア活動は続いた。

ボランティア活動の結果、島外の
多くの人、団体との関係ができた。ま
た、島民の皆さんが「明日も来てくれ
るかのう?」と島外の人を受け入れる
姿勢も確認できたと船谷さんは語る。

似島は江戸時代から荷継ぎの島。今も海運業が少なくない。明治時
代には陸軍の似島検疫所がおかれた。第一次大戦後にはドイツ軍捕
虜であったカール・ユーハイムさんが「バウムクーヘン」を焼いた発祥の
地でもある。似島竈神社の秋祭りで舞われる「提婆だいば」も歴史を感じる。

自然と歴史と緩やかな時間の体験に、広島港からの20分のフェリー
を楽しまれてはいかがでしょう。

「ひろ記者」とは、市民自らが地域のまちづくり活動やイベントなどを
取材し発信していく、広島市の市民レポーターです。

▶ <http://www.city.hiroshima.lg.jp/hirokisha/>



▲狭い道路が続く



▲「明日も来てね」ボランティアを見送る

らしくコラム

Rashikku column

災害に強い、たおやかな社会へ

はじめに

平成30年7月の西日本豪雨災害では、「土砂洪水氾濫」が広い範
囲で発生しました。土砂洪水氾濫とは、上流からの大量の土砂により
河床上昇が生じ、大量の土砂が河道外に水とともに氾濫する現象です。
その結果、生活インフラ被害、経済被害、人的被害が相互
に影響することで規模が拡大する相乗型豪雨災害となりました。

広島都市圏全体で、この土砂洪水氾濫により通行規制がかかった
高速道路延長は847km、一般国道の通行止めは50箇所6区間、
鉄道損傷は27路線100箇所以上を数え、地域の交通機能が長期
にわたって不全を起こしました。特に被害の大きかった呉市及びそ
の周辺では、発災後5ヶ月を経過しても鉄道一部区間が未開通で、
広島市～呉市間の幹線道路の所要時間は常時90分超で平時の1.5
倍～3倍の道路混雑を記録しました。啓開*から復旧まで作業が進
むにつれて交通容量が徐々に回復したものの、道路混雑のボトル
ネック区間が時間的にも空間的にも変化しました。

供給サイドの社会的課題

JRの代行輸送サービスの役割を果たしたバスは輸送容量が小さ
く、広島・呉・東広島都市圏内で確保できる車両と運転手の数に
限界があるため、広島県内に留まらず、中国・関西・九州の交通事
業者から総計6,700台の応援車両の提供を受けました。バス運行
計画は前日になってやっと確定できる状況であり、ダイヤと所要時
間などバスの運行情報の提供は極めて不安定な状態が続きました。

需要サイドの社会的課題

公的機関、学校、工場など多くの通勤・通学者を抱える大規模
事業所では、バスへの転換と時差出勤制度の導入により交通渋滞
の緩和を試みたものの、供給量の情報が不足したため、例えば始
業時刻を何分シフトすれば効果が上がるのか、見積もりが立たな
い状態が続きました。

災害に強い、たおやかな社会へ

平成26年8月、広島市安佐南区、安佐北区を襲った豪雨災害で
は、このような惨禍を二度と繰り返さないために、官民あげて様々
な取り組みが行われました。ところが、たった4年後にまた豪雨災
害に見舞われました。毎年の梅雨のある日本、災害予知システムの
改善、避難指示等情報提供体制の確認、交通関連オープンデータ
の構築、避難場所の再確認など、想定を超える非常事態にも適応
できる「たおやかな社会」のあり方について私たち一人ひとりが考
える時にあります。



Profile

広島大学大学院国際協力研究科 教授
藤原 章正

広島大学院工学研究科修了、博士（工学）。呉工業高等専門学校、広島
工学部助手、同国際協力研究科助教授を経て、2002年度より現職。
この間、東京大学研究員、インベリアルカレッジ客員研究員、国際協力
研究科長を兼務。現在、広島県都市計画審議会会長、日本学術会議
連携会員、日本都市計画学会中国四国支部長ほか

*緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを開けることをいう。



公民館へ

～安芸区内公民館～

地域のみなさんの学習活動を応援する最も
身近な施設「公民館」でまちづくりに関する
活動をしているグループをご紹介します。

1 船越誰故草保存会

船越公民館

船越誰故草保存会は、旧船越町の町花でそ
の名前の由来が船越と関係があるとされている
「誰故草」(別名エヒメアヤメ)の育成や自生地
の復活を目的として昭和54年に設立しました。

公民館で4月に開催している「船越誰故草ま
つり」では、今年、保存会結成40周年となること
から、県内外の誰故草関連団体関係者等を招
いて、記念講演や数々のアトラクション、交流会
等の記念行事を開催し、親睦や交流を深めると
ともに、今後の保存会活動の継続・充実に向け
て会員の意欲の向上に取り組んだところです。

現在、保存会としては様々な活動をしていま
すが、中でも、中学生と一緒に取り組んでいる
誰故草の自生地復活活動や、小学校や保育園
へ出向いての出張講座など、将来世代への継
承も兼ねた事業は、大きな特徴の一つとなっ
ています。また、公民館や区役所との連携も強化
して、「誰故草」をキーワードにしたまちづくりにも
積極的に取り組んでおり、各種広報物等への誰
故草の活用や地元酒造会社協力による誰故草
ラベルの日本酒の販売、地元若手作家による誰
故草グッズの作成・販売、市民向け誰故草関
係地訪問バスツアーの実施などを行っています。

保存会会員の年齢層も高くなってきましたが、
こうした取組みを通してより多くの方に保存会活
動に興味をもってもらい、若い方にも参加してい
ただけるよう取組みを進めていきます。



2 せの絵本の会 おはなし♡しゅっぱぽ

瀬野公民館

私たち「せの絵本の会 おはなし♡しゅっぱ
ぽ」は、おはなし会（絵本の読み聞かせ・紙芝
居・手遊び・わらべうた）を未就園児とその保
護者を対象に毎月第4水曜日の午前10時半
から11時半に行っています。おひざにだっこ
の生後3か月くらいの赤ちゃんから4歳の元気な
お兄ちゃん、お姉ちゃんまでの子どもたちとそ

保護者さん、そして私たちも毎回楽しい時間を
一緒に過ごしています。

私たちの話や絵本の絵に夢中になって真剣
になっている時は思わず私たちも力が入り、子
どもたちと一緒に声を出して本を読んでいる時は、
みんな絵本が好きなんだな。この本を選んで良
かったなと思い、私たちも嬉しく、楽しくなってき
ます。おはなし会の後半は、子どもたちは自由
遊びの時間。保護者さんたちは情報交換や我が
子の成長ぶりを話し、これも楽しい一時です。

私たちと一緒に本を読んだり、子どもたちとの
ふれあいしてくれる仲間が増えれば嬉しく思
います。活動日にぜひ一度見学に来てみてください。



3 わんぱく中野親子体操

中野公民館

私たちは2年前に立ち上げた未就園児を対
象とした親子体操のサークルです。今年度より
新しい講師の先生をお迎えし、新たに「わんぱく
中野親子体操」として活動しています。活動日
は毎月第2金曜日の午前10時15分～11時
半です（8月を除く）。

小さい子は歩き始めた頃から、大きい子は4
歳まで、一緒に体を動かして楽しんでいます。
活動では、音楽に合わせて「うさぎ」「わに」「あ
ひる」など動物の動きを真似るリズムあそびを中
心に、先生に動き方のコツや効果を教えていた
だきながら、大人も一緒に体を動かしてリフレ
ッシュしています。

最初は泣いたりお母さんから離れられなかつ
たりした子も、先生やお友だちと関わる中で、
徐々に笑顔で参加できるようになっています。お
友だちと触れ合いながら、親子で体を動かして
楽しみ、一緒に子どもの成長を喜び合いません
か。現在、参加者募集中です。ご興味のある
方は中野公民館までお問い合わせください。



4 ピラティスグループ

阿戸公民館

こんにちは。阿戸公民館で活動している「ピ
ラティスグループ」です。

ピラティスはマドンナなどのセレブが身体作り
のために取り入れている体幹を鍛える人気のス
ポーツです。

阿戸公民館での活動は平成25年に発足し
6年目を迎えます。

インド発祥のヨガと似ていますが、ピラティスは
ドイツで開発されリハビリに基づいてつくられたも
ので、より医学的に考案されたプログラムである
ため身体へ負担をかけることなく年齢、性別を
問わず気軽に活動できるため大変好評です。

また、主に体幹を安定させてインナーマッスル
の強化を図るため、姿勢やプロポーションの改
善、ケガの予防に大きな効果が期待できます。

自然豊かな阿戸公民館で行うピラティスは、
心身ともにリラックスしたムードの中で行い、終
わった後はポカポカ温まって、みんなの笑顔が
一段と輝き、静かに呼吸をしている時は、可愛
い鳥のさえずりが聞こえてくる時もありますよ。

活動日は毎月第2、4水曜日の午前10時半
から11時半です。自然豊かな阿戸公民館で、
心と身体の声に耳をこたえながら健康で美し
い身体にしませんか?皆さんをお待ちしています。



5 Futsalあおいくまclub

矢野公民館

矢野公民館で一番にぎやかな「フットサルあ
おいくまクラブ」です。毎月第2・第4土曜日の
午前中に、小学生を中心に、毎回笑い声や掛
け声を公民館にひびかせ、ガヤガヤと活動して
います。

「あおいくま」は、小学生男女や女性の方に、
ボールを蹴るってこんな感じだよというところから
はじまり、ゲームってこんなに体を動かし、頭を
使うんだということや、仲間と繋がることの大切
さを感じてもらい、優しくたくましい心の持ち主に
育ってくれることを願って活動しています。

チーム名の「あおいくま」は、㊦あわてず、㊧
おこらず、㊨いばらず、㊩よくよせず、そして自
分に㊰まけない気持ちを持ってほしいと名付け
られています。コートのなかでは、真剣なまなざ
しと笑い声の出る雰囲気作りを心がけています。

「あおいくま」では、女性で活動に興味のある
方、子ども達と一緒にボールを蹴ってくれる方
（資格不問）を探しています。お気軽に矢野公
民館までご連絡ください。



グループへのお問合せについては、
各公民館へお願いします。

- ① 船越公民館 …………… ☎082-823-4261
- ② 瀬野公民館 …………… ☎082-894-8006
- ③ 中野公民館 …………… ☎082-893-1234
- ④ 阿戸公民館 …………… ☎082-820-8222
- ⑤ 矢野公民館 …………… ☎082-888-0044

さまざまな分野の達人たちが登録しているまちづくりボランティア人材バンク。
地域活動やまちづくりのお手伝いに、
今日も、あなたのまちを達人たちがおうかがいしています。

さかい きよ
坂井 紀予さん

人間関係に悩む人の心を労わるマインドリペアで 人と人との絆を結ぶ

家庭や地域、職場などあらゆる場で起きる複雑な人間関係の問題に対して、本人から話を聞き、最善の解決策を見つける独自のプログラム「マインドリペア」、また自身の豊富な人生経験を活かし、さまざまな講座の講師を務めているのが、坂井紀予さんです。

もともとブライダル司会などの仕事に携わっていた坂井さんは、平成18年に婚礼事業を中心とした会社を起業。その中で、人と人の縁が繋がることや、絆を結ぶことの大切さなどを実感し、喜びを感じるようになりました。その後、坂井さんは周囲の人から経験を評価されて、キャリアコンサルタント、ビジネスマナー、心理カウンセリングなどの講師を務め、幅広い分野に進出。そこで話を聞いてくれる人に、根拠のある説明を行うためにも必要であ



▲終活講座の様子（令和元年6月）

る、複数の資格を取得します。

平成23年に人材バンクに登録した当初は、ブライダル関連の講師としてボランティア活動をスタート。「与えられた仕事は何でも挑戦する!」という坂井さんのバイタリティ溢れるチャレンジ精神で、キャリアコンサルタントの講師も務め、活躍の幅を広げていきました。

「私の根底には、かかわった人たちの笑顔を見たい、という思いがあります。人の喜んでいる姿を見ると、自分が必要とされ生きている証を感じることが出来ます。また、何年経っても街中で出会った時などに、声を掛けてもらえるのが嬉しいんです」と坂井さんは、自身の活動の魅力について語ります。

また最近では、歌を歌いながら体を動かすリトミックを通して終活プログラムを行うなど、高齢者を対象に認知症予防講座や、エンディングノート作成講座なども実施しています。

「家族の関係が希薄になっている今の時代、親子の中でもさまざまな問題があり、悩んでいる人も多いと思います。これからは、そんな悩む人たちの心を労わる、マインドリペアを中心に、人と人との絆を結ぶ取り組みにも、積極的に取り組んでいきたいと思っています。それは、自分を成長させるひとつでもあると思うので」。

人との出会いが何よりも大切に、大好きだと言う坂井さんにとって、まさに天職ともいえる活動。複雑な社会だからこそ、坂井さんのような存在が必要とされており、その役割にますますの活躍を期待します。



▲坂井紀予さん

ますもと じゅんこ
声楽家 榎本 純子さん

笑顔で楽しんで歌い、 縁あってかかわる人に音楽の魅力を届ける

自身のソロ活動はもちろん、公民館主催の寿大学での歌唱演奏やうた声広場、コーラスや大正琴、カルチャースクールの講師としても活動しているのが、声楽家の榎本純子さんです。

広島音楽高校ではピアノを、短大に進学してからは声楽を学びましたが、一度は一般企業に就職しました。しかし、音楽の道があきらめられず半年後に音楽教室の講師に転職したものの、結婚や出産を経験する中で、しばらくは音楽から離れていたそうです。

平成11年に短大時代の友人に誘われ歌うことを再開し、グループでイベントに出演するようになります。また同じ頃、大正琴も習い始め、音楽に触れる機会が増えていきます。そして平成21年に友人が出演したオペラを観劇し感動。「もう一度本格的に歌いたい」と決意し、紹介された声楽家日越喜美香氏のもとで基礎から学びなおしました。「学生時代は練習が嫌いで、まったく勉強していなかったのも・・・声楽について改めて基礎から学んでみると、驚くことばかり。声域が広がったり、声が変わっていくのを感じて、とにかく歌うことが楽しくなったんです」と榎本さん。歌のジャンルは、歌曲やオペラはもちろんのこと、童謡や歌謡曲など色々とチャレンジするようになりました。そうして



▲うた声広場指導の様子

いるうちに自然体で歌うと、自分自身が心地よく楽しく感じるようになったそうです。

平成23年には音楽仲間のピアニストと一緒に、初めてのリサイタルを開きました。また広島市内の公民館でコーラスグループの講師を務めるようになります。そして平成29年に人材バンクに登録し、活躍の場を広げています。

「体調管理はもちろんですが、歌唱する上で一番大切に行っているのはその曲の背景を想像したり、作った人の気持ちになって歌うことです。心を込めて歌うと自然とその情景が浮かんで来て、聞いている人にも伝わります。そう信じて技術に磨きをかけていきたいです」。

一度は音楽から離れたものの、歌の魅力に触れ音楽の世界へ戻ってきた榎本さん。「自分の目標にゴールは無く、もっと高みを目指してこれからも歌っていきたいと思っています。縁あって私とかかわってくださる方々からパワーをいただきながら、皆さんにもますます元気に生き活きと過ごしてもらえるように、まずは私自身が元気に笑って歌っていけたら!」。

笑顔で歌い、人生を謳歌する榎本さんからは、大きな幸せが伝わってきました。



▲榎本純子さん



▲ふたばラウンジコンサート出演の様子（東区二葉公民館）



▲JR横川駅高架下新店舗オープニングイベント出演の様子（令和元年6月）

まちづくりボランティア 人材バンク達人を 紹介してもらうには...

まちづくりボランティア人材バンクは「自分の知識や技術を活かしてボランティア活動をしたい」達人と「ボランティアで来てほしい、教えてほしい」団体・グループとをつなげるシステムです。

現在260名余りの達人が300件を超えるボランティア活動で登録しています。年間350件程度の達人紹介の申込みがあり、日程や活動内容等の条件が整った約300件が活動につながっています。

地域活動や手作りイベントなど市民の皆さんが活動する

中で、「お願い!達人」という時は、お気軽にご相談ください。

1. 人材バンク紹介申込書の作成

どういう団体・グループが、いつ、どこで、誰を対象に、何をやる行事なのか、希望する達人を所定の申込書へ記入します。決まっていない項目は空欄のままで大丈夫です。※紹介申込書は、人材バンク登録内容リストや当プラザHP、ひろしま情報a-netから入手できます。

※申込書の作成が難しい場合はご相談ください。

2. 合人社ウェンディひと・まちプラザへ申込み

当プラザへ、FAX、Eメール、郵送、窓口へ持参のいずれかで申込書を提出します。初めて申し込まれた団体や詳しいことを確認したい時には、当プラザより連絡をさせていただきます。

3. 当プラザから達人へ連絡・調整

紹介申込書の提出後、希望する達人へ当プラザから打

診の連絡をし、紹介の可否を確認します。（連絡・調整には、1週間程度かかります。）

4. 申込団体へ達人の連絡先をお知らせ

達人紹介の内諾が得られたら、達人の連絡先をお知らせします。達人との直接のやり取りのスタートです。速やかに正式な依頼の連絡を取りましょう。

5. 活動・イベント等の準備と実施

実施に向けて、達人との十分な打合せを行いましょう。しっかり相談すれば、お互いに良いアイデアが生まれます。いよいよ、活動・イベントの実施です。

6. 活動報告アンケートのお願い

活動終了後、当プラザよりアンケートをお送りします。実施結果や感想、写真、配布資料等を報告してください。その後の紹介に大変役立ちますので、ご協力をお願いします。

まちづくりボランティア 人材バンク発表会

ボランティア登録者が自らの達人ぶりを披露します。気軽にお立ち寄りください。

●日時／毎月第4土曜日 午後2時～3時半

※時間は変更になる場合がございます。

●場所／南棟1階ロビー

※当バンクは、政治、宗教、営利目的の活動での利用はできません。
※達人紹介は、団体・グループからの単発な活動に限ります。個人活動や長期継続活動への紹介はできません。
※達人は、実費弁償ボランティアとして活動します。交通費、資料代、材料費等の実費は、申込団体にご負担いただきます。

開催日時	内 容	出演者名
8月24日(土)	原民喜のフィールドワーク体験&紙芝居「夏の花」上演	竹原 陽子
9月7日(土)	広島市高齢者作品展協賛「人材バンク発表会」 時間／午後1時～4時 場所／北棟6階マルチメディアスタジオ	

※内容・出演者は急遽変更になる場合があります。

ボランティア紹介・登録などのお申込・お問い合わせは...

合人社ウェンディひと・まちプラザ ☎(082)545-3911 FAX(082)545-3838